

# 研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&amp;FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

## 研修講座 生徒指導②

「個への接し方を見直すこと、心理教育で集団を育てること」

【講師】 大阪成蹊大学 米田 薫先生

8月4日（金）、講師に大阪成蹊大学教授 米田 薫先生をお迎えして、研修講座「生徒指導②」を実施しました。

研修の初めには、「若い人たちを見ていると他者とのつながりが以前にもまして薄くなっている。一人でも生きていける社会（限られた人としか交流しない）が続くと人間関係を形成する力が衰えてしまう。」という話があり、われわれ教職員は、集団づくりを通して他者とコミュニケーションをとりながらつながっていく子どもたちを育てていく必要があることを改めて確認しました。

次に構成的グループエンカウターの基本的な展開方法や実践のポイント等について、ペアやグループとなってエクササイズを体験しながら学びました。

エクササイズは、じゃんけんに勝った人が負けた人に質問（①うれしかったことやできたこと。②夏休みしたいことや将来の夢）をするといった形式で行いました。その後、「話をしてみて、どんな気持ちになったか＝自己理解」「話を聞いてみて、どんな気持ちになったか＝他者理解」を共有しました。この気持ちを共有することをシェアリングといい、正直な気持ちとその理由を言えるようになることが大切であることを学びました。



講義の後半には、島ヶ原小学校の北村公大先生から実践発表がありました。「実際にグループエンカウターを行うと誰のためにやるのか、何のためにやるのかが明確になった。」という話から、まずは取り組んでみるのが大事であることを改めて感じる事ができました。各校・園で還流いただき、2学期からの実践につなげていただければと思います。



### アンケートより【一部抜粋】

・人間関係の形成が希薄化している今だからこそ教師の児童・生徒同士をつなぐ役割が非常に大切になってくることを改めて分かりました。「本音で語れる集団の方が打たれ強くなる。」という話から自他理解を目的とする相互インタビューを早速2学期に実践してみます。(小)

・今回の研修を受けて、「人に話を聞いてもらう」ということがうれしいと改めて気づきました。そして、自分のクラスでそれができているか振り返るとその機会がつかれていないと思いました。2学期から少しずつ実践していきたいと感じました。(中)

・構成的エンカウターの2人トーク⇒4人トーク(グループでシェア)の体験ができて良かったです。4人でシェアリングのところでは、自分の話ではなく、聞いた相手の方の話をするというのは、自分のことを話すのが苦手な児童にとっては話しやすくなるきっかけづくりにもなると思いました。(小)